# ＨＡＭＭＥＲＳ結成について

# 区内最大3,000人の建設労働組合

## 東京土建墨田支部自主防災組織
## ＨＡＭＭＥＲＳ
## （ハンマーズ）

２０１１年発生した東日本大震災では、被災地での行方不明者の捜索、被災建物の応急修繕、自衛隊などの緊急災害派遣隊の為の道路啓開作業と瓦礫(がれき)撤去、インフラの緊急復旧、これらの緊急対応にすぐ動き出したのは地元建設業者や建設従事者であると報告されています。また、１９９７年の阪神淡路大震災でも、いち早く隣人の救助をおこなったのは建設業者であったという報告もある通り、こうした大規模災害時に地元建設業者が果たす役割は重要となってきます。

東京土建墨田支部では２０１４年１１月に『自主防災組織ＨＡＭＭＥＲＳ』を結成しました。地元の建設職人組合である私たちは、『安心安全のまちづくりと住まいづくり』の担い手として、災害時には地域で最も身近で頼られる存在となるため活動・訓練をおこなっています。

訓練には、大勢の見学者で地元の期待も膨らみます

お問い合わせは

**東京土建一般労働組合墨田支部**

ＴＥＬ：０３－３６１４－３８０６
住　所：墨田区東向島２－１１－１３
受付時間：月曜から金曜日の平日
（営業時間：午前９時～午後５時まで）

SUMIDA HAMMERS まちの救助隊

ホームページ：http://doken-sumida.org/

詳しくは、こちらをご覧ください →

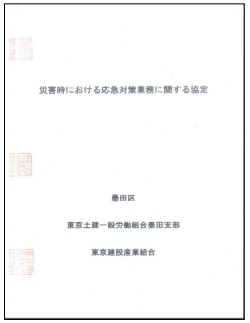
# 自主防災組織『ＨＡＭＭＥＲＳ』活動報告

## 墨田区との災害協定

墨田区総合防災訓練での救助訓練

２００８年６月に東京建設産業組合と共同で墨田区と災害協力協定を締結。具体的には、大規模災害が発生したときに①自力脱出困難者の救出救助②避難所等の応急的な危険度判定③避難所の応急修理等の活動をおこないます。

また、墨田区と災害協定を結んでからは、毎年「墨田区総合防災訓練」で倒壊家屋を再現し、バールやジャッキなどを使っておこなう応急救助や、洋服や物干し竿で簡易担架を作り、救助者を運ぶ実演などに取り組んできました。



災害時における応急対策業務に関する協定

墨田区

東京土建一般労働組合墨田支部

東京建設産業組合

墨田区との災害協定書（右）と締結時の写真（左）

## 災害時に地域から信頼される組織をめざして

区助成制度の家具転倒防止普及啓発活動

大規模水害に備えた土のうづくり体験

防災訓練では高校生に指導

災害発生時に地域のなかで最も身近で頼られる存在をめざして、訓練や学習によって知識や技能を磨きます。地元建設従事者だからこそ「できる」建築資機材を使っての倒壊家屋からの救出や避難所等の応急修理等をおこないます。また、災害時に備えて防災・減災に対する普及活動を地域町会・自治体と共同でおこないます。

向島消防署にてAED講習会を受講

簡易担架を作り、救助者を運ぶ実演

SUMIDA HAMMERS まちの救助隊